

# 街を行く

第138回 門徒厄神 *Mondoyakujin*

## みなさんに厄除開運を



厄神明王が祀られた真言宗「松泰山東光寺」。みなさまの厄除け開運をお祈りいたします。

「世の中は3年間も止まっていたのだな」と、この街にふたたび足を踏み入れたとき、コロナ禍で生じた行動抑制期間の長さを噛み締めました。ここは日本の三大厄除け開運大師の一つ、真言宗「松泰山東光寺」。厄神明王が祀られ皆からは“厄神さん”的愛称で呼ばれていました。小生は厄年に初めてお参りしてから25年間通い続けていますが、コロナ禍でやむなく中断、今ようやく再訪が叶ったところです。

お参りには、さほどの深い意味はありません。場所に土地勘（小生は大阪出身です）があったことと、生き馬の目を抜くようなビジネスに浸かりっぱなしの日常に、年に一度くらいはご祈祷を受け少しでも俗世の垢を洗い流そうとしたわけです。ですが今回については自分自身の自粛解禁（十分気を付けることには変わりありませんが）と、元通りの生活をしっかり取り戻す“けじめ”的意を込め訪れた次第です。コロナ禍以前、境内では大勢の人がお参りと祈祷

をセットで受けていたのですが、今回はたったの5人。皆さんまだ自粛されておられるのですね。日本人の真面目さに本当に頭が下がりました。

話題をこの街へ戻しましょう。厄神さんは閑静な住宅街のど真ん中に位置しています。寺社の参道を中心に栄える“門前町”的典型とも言える街となっています。

最寄り駅は門戸厄神駅。梅田から阪急電車神戸線に乗って、西宮駅で今津線に乗り換えたひとつ目となります。梅田から西宮まで特急が使えるなどアクセスは非常によく、大阪のビジネス中心部に勤務するビジネスマンにとっては絶好のベッドタウンとして認知されています。また関西学院大学や神戸女学院、小林聖心女子学院など、関西の有名どころのキャンパスがある学園都市という顔もあります。大阪と神戸を結ぶ阪神間は人気ある高級住宅地という定評があるのですが、今後もそのステータスを維持できるかは、大阪経済のこ

の先にかかっていると思います。個人的には、2025年の大阪万博やIR誘致も良いですが、地元産業の成長が欲しいところですね。“東京の”ではなく“日本の”第二の都市として関西パワーを結集できるか次第。厄神さんだって発展を願っていると思いますよ。でも、訪れるたびに地域ならではの特性が失われてきているような気がするのは、小生だけでしょうか？

南 一弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エートス・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発（旧松下興産）の代表取締役に就任。2006年ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役に就任。